週間情報

No.2731
発行日　平成27年8月11日
発行所　全国消防長会
　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行　　事

◆　第５回「一筆啓上 火の用心サミット」を開催

君津市消防本部（千葉）

君津市消防本部では、平成２７年７月２日（木）、３日（金）の２日間、第５回「一筆啓上火の用心サミット」を開催しました。

「一筆啓上火の用心、お仙泣かすな馬肥やせ」、この簡潔明瞭な手紙は天正３年（1575 年）戦国武将「本多作左衛門重次」が「長篠の合戦」の陣中から妻に宛てたものです。

この手紙は、日本で最初に「火の用心」を使ったとする説が有力とされ、「火の用心」の生みの親とも言われています。

この「火の用心」と「本多作左衛門重次」、そして作左衛門の子「お仙（本多成重）」に強く関わりのある市町村を管轄する６つの消防本部（局）が、お互いに交流を深め友好都市になることを目的に、平成１５年から３年に一度、手紙にまつわる「ゆかりの地」を順に巡りながら「一筆啓上火の用心サミット」を開催しています。

今回「第５回一筆啓上火の用心サミット」は、当市で開催され、各消防本部（局）から消防長、消防団長、予防課長等、合計２３名が出席し、火災予防に関する情報交換や親善交流を通じて、改めて「火の用心」の言葉の重みを受け止め、全国に火災予防の意気を発信していくことを確認しました。

【第５回 一筆啓上 火の用心サミット】

≪参画消防本部≫
・嶺北消防組合消防本部（福井）
　「お仙」丸岡城主となった地
・岡崎市消防本部（愛知）
　「作左衛門」生誕の地
・浜松市消防局（静岡）
　「お仙」生誕の地
・新城市消防本部（愛知）
　「作左衛門 」手紙を出した地
・君津市消防本部（千葉）
　「作左衛門 」隠居地
・取手市消防本部（茨城）
　「作左衛門」終焉の地

◆　“横綱　日馬富士関”を瑞穂消防署の一日消防署長に任命

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局瑞穂消防署では、平成２７年７月８日（水）、大相撲名古屋場所を前に、横綱日馬富士関（伊勢ヶ濱部屋）が一日消防署長を務めました。

日馬富士関は、近隣の幼稚園児など総勢約３００名の見学者を前に、職員による消防訓練の指揮や、はしご車搭乗体験、放水体験を行いました。

日馬富士関は「水圧がすごくて、大変な仕事だと思った。」と感想を語っていました。また、幼稚園児からの「がんばれ、がんばれ、日馬富士！」という応援メッセージに「ありがとうございます。がんばります。」と満面の笑顔で意気込みを語っていました。

【消防訓練指揮をする一日消防署長】

【放水体験の様子】

◆　公的三機関の水難救助資機材見学会を開催

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、平成２７年７月１２日（日）、当市内に拠点を置く三つのライフセービング団体のジュニアクラブ員に対して、湘南の海岸を守る公的機関（湘南海上保安署、藤沢警察署湘南港江の島連絡所、南消防署鵠沼（くげぬま）水難救助隊）が人命救助活動等で使用している資機材等と水難救助活動デモンストレーションの見学会を開催しました。

当日は、ジュニアクラブ員１００人と保護者等が、公的機関の船舶が係留されている湘南港に集まり、普段あまり目にすることのない巡視艇、警察用船舶及び消防救助艇や潜水器具等の説明を熱心に聞きました。最後に行われた消防水難救助隊によるデモンストレーションでは、「すごい」「かっこいい」などと皆が口を揃え、和やかなうちに見学会を終了することができました。

開催場所であった湘南港は、２０２０東京オリンピック・パラリンピックのセーリング会場として決定していることもあり、この見学会を通し、「藤沢の海の安全」を子ども達が考えるきっかけになり、将来にわたり事故のない安全な海岸の構築の一助になることを期待しているところです。

【デモンストレーションの様子】

【巡視船の説明を聞くジュニア達】

訓練・演習

◆　溺者救助等の習熟を目的とした舟艇訓練を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局西部消防署及び旭町消防署では、平成２７年６月２４日（水）から２６日（金）までの３日間、台風や集中豪雨が発生しやすい季節を前に利根川水難対策用船着場を利用して、溺者救助等の習熟を目的とした舟艇訓練を実施しました。

今回の訓練では、近年注目されている手法である水上バイクによる救助法が、多数の要救助者にすばやく対応ができるという有効性を持つことを再確認し、実災害における共通認識を深め、水面救助戦術の向上を図ることができました。

【溺者救助等の習熟を目的とした舟艇訓練の様子】

◆　合同水難救助訓練を実施

丹波市消防本部（兵庫）

丹波市消防本部では、平成２７年６月２９日（月）、水辺でのレジャーシーズンを前に、管内の一級河川において、兵庫県消防防災航空隊及び兵庫県警察との水難事故での協力及び連携体制の強化、連絡の円滑化を目的に合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練では「７名乗りのワゴン車が川に転落し６名が行方不明」との想定で、潜水隊による要救助者の検索、消防防災ヘリコプターや救助ボートによる救助など、各機関が相互に連携を図りながら、安全・迅速な救助が実施できることを確認しました。

今後も、各機関と連携強化を図り、災害発生時には迅速かつ的確に対応することで、市民の安全・安心なくらしを守っていきます。

【合同水難救助訓練の様子】

◆　本部指揮隊・署指揮隊が合同指揮訓練を実施

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部では、平成２７年７月７日（火）、８日（水）の２日間、管理職を対象に、建物火災を想定した消防本部指揮隊及び各署指揮隊の連携訓練を実施しました。

この訓練は、本年度から３人編成による２４時間体制の本部指揮隊を運用開始したことにより、現場の統括、部隊の運用、安全管理、情報収集及び報道対応等に関し署指揮隊との連携強化を目的に実施しました。

訓練では、組織活動における指揮隊の位置付け及び必要性を理解するとともに、指揮隊としての基本的活動要領を身に付け、後進への知識や技術の伝承に努めました。また、各隊とも訓練終了後、直ちに各所属長を交えた検討会を行い、更なる指揮技術の向上を図りました。

【合同指揮訓練の様子】

研　修　等

◆　平成２７年度火災調査研修会を実施

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局入間消防署では、平成２７年６月２４日（水）から２６日（金）までの３日間、火災調査研修会を実施しました。

この研修会は、消防職員として必要な火災調査全般に関する知識や技術の向上を目的として行われたもので、総勢９２名の職員が参加しました。

午前中は、火災調査を組織的かつ確実に実施していくための留意事項や調査手法、火災調査書類の記述要領などを中心に研修が進められ、午後は、火災事例の事前学習を基に出火箇所や出火原因についてのグループ討議と結果発表など活発な意見交換が行われました。

火災の減少などに伴い、火災調査に従事する機会も減少しているなか、参加職員は火災調査への理解を深めることができ、有意義な研修会となりました。

【グループ討議の様子】

◆　国際消防救助隊員による講演を実施

いわき市消防本部（福島）

いわき市消防本部勿来（なこそ）消防署では、平成２７年７月３日（金）、管内の防災関連機関との研修会において、「ＩＲＴ（国際消防救助隊）の活動について」と題し、国際消防救助隊員に登録されている職員が講演を行いました。

今後もあらゆる機会を捉えて、関連機関との連携強化を図るとともに、更なる地域防災体制の確立に努めていきます。

【国際消防救助隊員による講演の様子】

◆　広報パブリシティ研修を実施

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局金沢消防署では、平成２７年６月２５日（木）、２６日（金）の２日間、職員の情報発信力及び報道対応力の向上を目的として、広報パブリシティ研修を実施しました。

この研修会では、報道の最前線で活躍している「毎日新聞社」及び地域情報紙「タウンニュース社」の記者を招いて、広報用の写真撮影のテクニック、広報誌の紙面作りのノウハウを教えていただきました。

当署職員のほか、金沢警察署、金沢区役所及び当市消防局企画課の参加があり、職員からは「目からウロコ」の内容で、実例を題材にしての講義はとても分かりやすく、今後の広報活動に是非活用したいとの声があがりました。

効果的な広報を展開できれば、消防業務のＰＲにつながり、さらには職員全体のモチベーションアップにつながるものと期待しています。

【広報パブリシティ研修の様子（左：毎日新聞社、右：タウンニュース社）】

そ　の　他

◆　消防団・消防署の消防車でＡＥＤ積載をアピール

西尾市消防本部（愛知）

西尾市消防本部では、日頃から各施設や事業所にＡＥＤの設置と普及を進めていますが、今回ＡＥＤ１０器を新たに購入し、平成２７年７月１７日（金）から消防団の消防車１０台に積載しました。

また、この機会にＡＥＤを積載している消防署の救急車・消防車、消防団の車両あわせて２５台に、市で不要になったマグネットシートを再利用してＡ４サイズで「ＡＥＤ積載車」と表示し、一般の方からも分かりやすくＡＥＤ積載をアピールします。

【女性消防団員とＡＥＤ】

【マグネットシートの表示】

国 等 の 動 き

消防庁通知等

◆　消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について（７月２９日、消防消第１４９号）

消防庁次長より、各都道府県知事あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

消防の分野においては、平成２７年４月１日現在、全国の消防吏員に占める女性の割合は２．４％と非常に少なく、残念ながら、女性活躍推進に係る取組では他の分野に大きく遅れているのが現状です。

消防組織に女性消防吏員を増加させることは、まず、女性を含めた多様な経験を有する職員が住民サービスを提供することによって、子どもや高齢者、災害時の要支援者など、様々な状況にある多様な住民への対応力が向上し住民サービスの向上が図られることにあります。さらに、多様な視点でものごとを捉える組織風土、育児・介護などそれぞれ異なる事情を持っていることを組織や同僚が理解し支援する組織風土が醸成されることにより、組織の活性化、組織力の強化、士気の向上が図られます。

今般、消防庁が開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」において、別添（省略）の報告書がとりまとめられました。

この報告書にもあるとおり、消防庁としても、消防サービスの向上、消防組織の活性化のためには、女性消防吏員の活躍推進を大きく進める必要があり、各消防本部においては、取組の強化に速やかに着手していただく必要があると考えていますので、下記（省略）の事項に留意のうえ、積極的な取組をお願いします。

各都道府県知事におかれては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対し、下記の各事項について積極的に取り組むよう周知徹底をお願いします。併せて、消防本部のみならず消防本部が属する市町村等の人事担当部局及び財政担当部局等の協力を得ながら進めるべき事項もあることから、市町村等の関係部局等に対しても周知がなされるよう配意願います。

また、都道府県消防学校においても女性消防吏員に対する教育訓練の充実を図っていただきますようお願いします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和２２年法律第２２６号）第３７条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2707/pdf/270729_syou149.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】消防・救急課 職員第一係
担当：大河内、永田

情報提供

◆ 第 63 回全国消防技術者会議の開催について（ご案内）（消防研究センター）

消防研究センターでは、「第 63 回全国消防技術者会議」として、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第 19 回消防防災研究講演会」および消防関係者による一般発表と平成 27 年度消防防災科学技術賞受賞者による発表を下記のとおり開催いたします。また、「消防防災科学技術賞」の表彰式および展示発表も行いますので、併せてご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1　開催日
第１日　平成２７年１１月２５日（水）
第２日　平成２７年１１月２６日（木）

2　場所
ニッショーホール（日本消防会館）
東京都港区虎ノ門２－９－１６

3　定員
両日とも各 600 人（参加無料）

4　内容
【１１月２５日（水）】
『特別講演』　講師：関澤愛 教授（東京理科大学）
『第 19 回消防防災研究講演会』　テーマ：「木造密集地域での火災と安全への備え」
・消防研究センター等の研究成果を発表し、聴講された消防関係者や消防防災分野の技術者との意見交換を行います。
【１１月２６日（木）】
・消防関係者による一般発表と平成 27 年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表を行います。

5　プログラム
消防研究センターのホームページ（http://nrifd.fdma.go.jp/）をご覧ください（「イベント情報」欄の「【技術】第 63 回全国消防技術者会議」のリンクをクリック）。逐次詳細なものに更新します。

6　参加申込み方法
消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。
なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。

7　参加申込み期間
８月１７日（月）から１１月１６日（月）まで（予定）
（但し、各日定員になり次第締め切ります。）

8　問い合わせ先
消防庁消防研究センター　研究企画室
〒182-8508　東京都調布市深大寺東町 4-35-3
TEL:0422-44-8331　FAX:0422-44-8440
E-mail：63_gijutsusha@fri.go.jp

◆　平成２７年度消防技術安全所検証・研究成果発表会の開催について

東京消防庁

東京消防庁消防技術安全所では、検証・研究成果を発表し、消防行政の効果的推進を図るとともに、消防防災科学の発展に寄与することを目的として、検証・研究成果発表会を下記のとおり開催致しますのでご案内いたします。

記

１　日時

	口頭発表等	ポスターセッション等
年月日	平成２７年９月１８日（金）	
時間	９時１５分から１２時００分まで	８時４５分から１２時３０分まで

２　場所

東京消防庁消防学校５階講堂・ホワイエ（東京都渋谷区西原二丁目５１番１号）

３　参加申込

参加を希望される場合は、東京消防庁消防技術安全所ホームページ（http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka/event01.html）に掲載の「平成２７年度消防技術安全所検証・研究成果発表会参加申込書」により、平成２７年８月３１日（月）までに、下記問合せ先へ電子メール又はＦＡＸでお申し込み下さい。

４　プログラム

⑴　口頭発表等　９：１５～１２：００　（於：消防学校５階講堂）

ア　消防技術安全所長挨拶　９：１５～

イ　成果発表　９：２０～１０：２０

(ｱ)　各種防護衣を着装した消防活動時の隊員の生理的負荷に関する検証　９：２０～

(ｲ)　防火衣の受熱に関する検証　９：３５～

(ｳ)　0.5MPa 型ガンタイプノズルによる泡放射の消火能力に関する検証　９：５０～

(ｴ)　焼損した建築材料の識別に関する検証　１０：０５～

ウ　ゲスト発表　１０：２０～１０：３５

シートベルト巻取り機から出火した火災について　（川崎市消防局　熊倉貴　氏）

エ　休憩　１０：３５～１０：５０

オ　特別講演　１０：５０～１２：００

演題：『災害対応ドローン・ミニサーベイヤーの最新技術と将来展望』

講師：国立大学法人千葉大学特別教授

兼　株式会社自律制御システム研究所代表取締役　野波　健蔵　氏

〔概要〕

ドローンをめぐる内外の環境は劇的に変化し、予想をはるかに上回る早さでドローンが様々な分野に普及し始めています。本講演では、純国産機のドローンであるミニサーベイヤーについて、ドローンとは何か、飛行原理、様々な応用方法、特に災害対応を中心にその秘めたる力、そして、将来の展望について、ビデオ等を駆使しながら平易に解説していただきます。

⑵　ポスターセッション等　８：４５～１２：３０　（於：消防学校５階ホワイエ）

ア　ポスターセッション

(ｱ)　長周期地震動等に伴う室内安全に関する検証（その１）

(ｲ)　定量的な再現性を有する火災シミュレーションの構築に関する検証（その２）

(ｳ)　延焼する室内に対する効果的な放水方法の検証

(ｴ)　マグネシウム火災に対する消火効果に関する検証

(ｵ)　がん具用煙火の燃焼及び消火に関する検証（その１）

(ｶ)　がん具用煙火の燃焼及び消火に関する検証（その２）

(ｷ)　災害廃棄物の発熱及び出火危険性に関する検証

(ｸ)　放水器具の違いによる放水時の身体的負荷の比較に関する検証

(ｹ)　山岳救助活動時における効果的な胸骨圧迫方策に関する検証

イ　平成 26 年度消防機器等考案優秀作品展示

(ｱ)　訓練用覆面シート

(ｲ)　スケッドストレッチャー用フェイスカバー
(ｳ)　中和剤散布機
(ｴ)　防災パズルセット
(ｵ)　現示統制用ストップウオッチ

５　その他

⑴　受付は、８時４５分より東京消防庁消防学校１階で行います。
⑵　会場の都合上、駐車場がございませんので、あらかじめご了承下さい。

問い合わせ先
東京消防庁 消防技術安全所
消防技術課 消防技術係　尾嵜　久保
東京都渋谷区幡ケ谷一丁目 13 番 20 号
電　話: 03-3466-1515（内線 6342・6347）
FAX　: 03-3468-8732
E ﾒｰﾙ : gijyutuka3@tfd.metro.tokyo.jp

※　消防庁各課室の直通電話番号は（http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。
週間情報への投稿は企画課へ！
TEL　03-3234-1321　FAX 03-3234-1847　E-mail ： weekly@fcaj.gr.jp